

第 4 期草津市教育振興基本計画スタートの年

草津市立教育研究所 所長 小林 悦子

今年度から草津市教育振興基本計画の第 4 期が始まりました。これは、「こどもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」を基本理念のもと、柔軟な発想と改革意識をもって教育施策を遂行していくため、策定されたものです。教育研究所もこの計画に基づき、基本施策に沿った機能強化をすすめ、教育活動の充実を進めてまいります。

「不登校児童生徒への支援の充実」について、不登校児童生徒数が、全国で 34 万人を超えたと報道でもあるように、教育現場での課題の一つになっています。文部科学省では「不登校は誰にでも起こり得るもの」として捉え、「個々の不登校児童生徒の状況に応じた必要な支援が行われるようにすること」と通知が出されています。

草津市内では、児童生徒数は増加していますが、不登校の児童生徒数は、増加にストップがかかってきています。理由として、令和 5 年にやまびこ教室の分室である「やまびこ上笠教室」が開所されたこと、令和 6 年より市内全小中学校に登校支援室が配備されたこと、フリースクール通所への助成が充実されたこと等、こどもの居場所が確保されてきたことが考えられます。

やまびこ教室の通所人数は、令和 2 年からの 5 年間で 2 倍に増えています。ニーズが高まる中、国の COCOLO プランに示されているように、教育支援センターであるやまびこ教育相談室の機能強化が必要です。今年度より、臨床心理士を配置し、カウンセリングを通じて成長を促すよう、不登校支援の充実を行っていきます。また平日だけでなく、土曜日の電話相談も開始し、保護者支援の充実を図ります。

不登校支援は、計画的・組織的に進めることが重要です。家庭・学校・SSW・関係機関等と連携し、支援の充実を図ります。

「教職員の指導力とチーム学校の指導体制の充実」については、こどもの多様化・複雑化する困難等に対応するため、専門家（弁護士・精神保健福祉士）の助言を得ながら解決を目指す「学校問題サポートチーム」の拡充を行います。SNS によるトラブルやいじめ重大事態等、相談件数が急増していることから、今年度より年 40 回の弁護士相談に増やしました。精神保健福祉士のモニタリングも随時受け付けております。

またスキルアップアドバイザーによる経験年数の浅い教職員の指導力向上や ICT 活用力の向上等、複数回の学校訪問を通じて、個別支援の充実・校内 OJT の推進等、学校の組織的教育力の向上に努めます。特に ICT 活用力については、支援が必要な教職員へのステージ研修を通じて、市内全体の活用力向上を目指します。

夏期研修講座では、今年度は特に教職員の資質向上を図る研修に力を入れていきます。「こどもまんなかの学校づくり」「ウェルビーイングな学校づくり」「多様な教育的ニーズへの対応」「働き方改革の推進」「チーム学校体制の充実」「人権教育」等、昨年の研修後アンケートを受け、ニーズに応じた講座の準備を進めてまいります。

教育に力を注ぐことは、未来を創ることであり、「こどもが輝く教育のまち」を実現することは、草津市のよりよい未来を創ることにつながっていきます。本研究所もこどもを中心に据えた「こどもまんなかの学校づくり」を支援すべく、教育行政の一助を担ってまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 教育研究所事業紹介

奨励研究事業

- ・昨年度、小学校・中学校・こども園、保育所より37点の応募がありました。本年度も3部門（ステップアップ研究部門、フレッシュ研究部門、就学前教育研究部門）で実施し、教育研究のより一層の広がりをめざします。
- ・すべての所、園、学校からのご応募をお待ちしています。要項をよく読んで応募してください。

研修講座

- ・夏季休業中（7/22～8/5）に夏期研修を行う予定をしております。今年度も資料に関しては、タブレット又は校務用パソコンにダウンロードしてください。ペーパーレスにご協力をお願いします。
- ・7/30午後には、研究所にて研究発表大会を開催します。研究奨励論文中間研修会を兼ねています。
- ・実技を中心とした自己啓発講座も実施予定です。

※講座内容・講師などは、決まり次第、詳細をお知らせいたします。

～たくさんの方の参加をお待ちしております。～

調査研究

【教育課程に関する調査・実践研究】

- ・昨年度の研究「不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の在り方に関する研究～登校支援室の運用と教職員の関わりを通して～」に引き続き、不登校支援に関する研究を予定しています。テーマ、内容等に関しては、決まり次第お知らせいたします。

【地域教材に関する調査・研究】

- ・小学校3・4年生向け社会科副読本「わたしたちの草津」の編集委員会を立ち上げ、今年度は令和8年度から使用予定の副読本に合わせた指導書の一部改訂を行います。

サポートチーム会議

- ・保護者や住民等からの要求や要望について、学校では対応しきれないケースに対応するため、また児童、生徒への問題行動への効果的な対応と未然防止を図るための指導・助言を行います。
- ・毎週1回程度、定例のサポートチーム会議（弁護士相談）を実施します。
- ・ケース内容に応じて、校内ケース会議等にアドバイザー（社会福祉士）が赴くこともします。

プログラミングコンテスト

プログラミングに興味・関心のあるこどもたちがその学びを進めていった成果を発表する場として開催します

たくさんのご応募をお待ちしております。

○表彰式 12月23日（火）

教科書展示会のお知らせ

期間 6月5日(木)～6月27日(金)

火～土 10:00～18:45

*最終日は、～12:00まで

(日・月は休室)

場所 UDCBK(野路一、西友南草津店1階)

私たちもよろしくお願いします！

所 長：小林 悦子 

指導主事：三品 友博

研究員：玉木 裕

スキルアップ支援事業

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

担当学校を訪問し、「授業づくり・学級づくり」及び「ICT 活用」についての個別支援を行います。
また、全校・学年別・教科別などによる OJT 研修を通し、学校全体の授業力の向上を目指します。

スタッフ紹介

授業づくり・学級づくり支援

主体的・対話的で深い学びに向けて、授業改善の支援を行います。

【清水 康行】

担当校

志津小・志津南小・草津小・老上西
小・南笠東小・笠縫東小・常盤小・
草津中・老上中・玉川中

【山崎 賢】

担当校

草津第二小・渋川小・矢倉小・老上小・
玉川小・山田小・笠縫小・高穂中・新
堂中・松原中



ICT 活用支援

授業で効果的に ICT 機器を活用する方法の支援を行います。

【糠塚 一彦】

担当校

志津小・志津南小・草津小・老上西
小・南笠東小・笠縫東小・常盤小・
草津中・老上中・玉川中

【仲野 忠克】

担当校

草津第二小・渋川小・矢倉小・老上小・
玉川小・山田小・笠縫小・高穂中・新堂
中・松原中



研修のお知らせ

【ICT ステージ研修】

教育研究所では、授業で ICT を活用できる基本的なスキルを身に付ける研修を行います。

こんな場面で困っていませんか？

- ・教材を効果的にこどもたちに提示する方法が知りたい。
- ・こどもたちに ICT を活用する力をつけさせたい。



8月と10月に教育研究所にて研修を行います。またオンデマンド研修も行っています。参加したいという方は、随時募集しておりますので、管理職を通じて教育研究所までご連絡ください。

やまびこだより

草津市では不登校支援が喫緊の課題となっています。教育支援センター（やまびこ教育相談室）では「不登校等、児童生徒への支援の充実」をスローガンにして、**新たに、心理士の配置や相談事業の充実を図ります。**やまびこ教室は、引き続き「青地教室」「上笠教室」の2教室を開設し、**SSW（スクールソーシャルワーカー）、**市内各学校、園との綿密な連携のもと、児童生徒、保護者へのさらなる支援の充実、強化をめざします。

教育相談室



やまびこ教育相談

さまざまな悩みを抱えている子どもや保護者が、安心できる場所で自身の思いを語り、少しずつ現状を客観視できるようになります。相談者自身が本来持っている力を発揮し、方向性を見出していけるよう一緒に考え支援します。

（写真は青地教室）

子どもが自分の思いを適切な言葉で語れない場合、遊びなどを通して相談員との心の交流を図り、気持ちが自由に表出されるよう支援します。結果的に子どもの心が癒され情緒が安定するようになります。ここからやまびこ教室へ繋げていきます。

やまびこ上笠教室



やまびこ青地教室

やまびこ教室

『やまびこ教室』は、学校に行きにくい状態にある子どもたちが学校復帰や社会的自立を目指してさまざまな活動に取り組みます。**今年度も「青地教室」「上笠教室」2教室の開室で**さらなる支援の充実、強化を図っていきます。

スタッフ紹介



宮地 均
〈上笠教室〉



石井 千鳥
〈青地教室〉



藤井 弘美
〈青地教室〉



武内 昭遵
〈青地教室〉



角 玲子
〈上笠教室〉



西村 忠泰
〈上笠教室〉

やまびこ教育相談室に 臨床心理士が配置されました。

今年度より、やまびこ教育相談室に週に一度、臨床心理士が配置されました。やまびこ教育相談室指導員とともに子どもや保護者の悩みに寄り添い、心理的なサポートを行います。



石田 綾
(やまびこ教育相談室)

【役割】

- ① 心理の専門家としての立場から、相談者の悩みの背景について助言を行います。
- ② カウンセリングを行い、お子さん自身の成長を支援します。
- ③ 保護者の皆様の不安や心配についても相談を受け付けています。

子どもたちや保護者の方々が学校復帰や社会的自立に向けて、一歩進んでいけるよう支援していきます。よろしくお願いします。



スクールソーシャルワーカー SSWよりお知らせ

SSWの配置が増え、各校に概ね週に一度訪問できるようになりました。



【SSWの役割】

- ① 子どもや保護者への直接的な働きかけ
(家庭訪問・相談活動・支援活動 等)
- ② 子どもを取り巻く環境(家庭・学校・地域)の調整・改善
・関係機関とのネットワークの構築や連携・調整
・学校内におけるチーム体制の構築と支援



谷口秀美
(高穂中学校区)



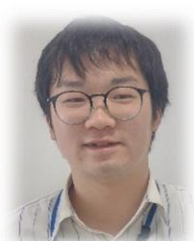
初田元明
(松原中学校区)



松田めぐみ
(新堂中学校区)



市川かおる
(草津中学校区、
志津南、矢倉小)



林野佑亮
(老上中学校区
玉川中学校区)



恒松睦美
(緊急・困難
ケース対応)

シリーズ

司書さんおすすめの絵本



「いつまでいっしょ？」 クリストファー・チェン／文 スティーブン・マイケル・キング／絵
なががわ ちひろ／訳(国土社)

パンダさんとネズミちゃんはとても仲良しで、いつも一緒に過ごしています。でもネズミちゃんは、いつまで一緒にいてくれるのだろうと心配で、パンダさんに尋ね続けます。「パンダさんが ついてこれない ところへ いってしまったら」と尋ねると、パンダさんはしばらく考えてから優しく答えます。

どんなときも一緒にいてくれるのか、不安なネズミちゃんに大らかな心で応えるパンダさんをみて、自分もそんな優しさをもちたいと思わせてくれる絵本です。



「たべられちゃうの? めんどりさん」 リチャード・ウェアリング／作 キャロライン・ジェイン・チャーチ／絵 まえざわ あきえ／訳(ひさかたチャイルド)

ある農場の小さなめんどりは、なんでも食べてどんどん大きくなります。それをみていたオオカミは、もっと大きくなったところを食べてやろう、とお腹をすかせながらその時を待ちます。そして、小屋から出られないほど大きくなっためんどりととびかかったオオカミは…!

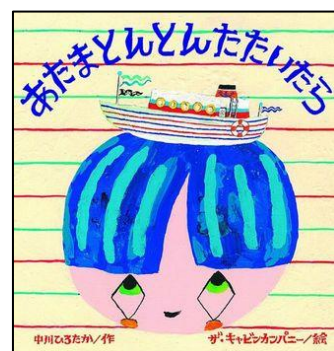
くいしんぼうなめんどりと、お腹がぺこぺこになりながらもめんどりが大きくなるまで待ち続けるオオカミの描写にハラハラドキドキしますが、ラストは読者の予想を裏切る展開で、驚きと面白さがつまった絵本です。



「あたまとんとんたたいたら」 中川 ひろたか／作 ザ・キャビンカンパニー／絵(鈴木出版)

頭をとんとんたたいたら、はとがたくさん出てきます。ほっぺをとんとんたたいたら、ほっぺから大きなホットドックが出てきて、胸をとんとんたたいたら、どーんと大きな船がでてきました。体のいろんなところを、とんとんたたいていくと、どうなっちゃうのでしょうか?

とてもユーモラスな絵本で、何が出てくるのかな? と、楽しみながら読み進めることができます。頭をとんとん、ほっぺをとんとん・・・と、ぜひ子どもたちと一緒にマネして読んでみてください。



読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力を得て作成しています。

